

東京大学 総合研究博物館 特別展示 図録  
『Archaeometria アルケオメトリアー考古遺物と美術工芸品を科学の眼で透かし見るー』

正誤表

ページ	場所	誤	正
017	表1 3行目2列目	個/g・秒	個/g・分
083	写真4のキャプション4行目	Kirillova, I. V. and Shidlovskiy, F. K. 2009	Kirillova, I. V. and Shidlovskiy, F. K. 2010
093	左段 39行目(下から26行目)	Kirillova, I. V. and Shidlovsky, F. K. 2009	Kirillova, I. V. and Shidlovskiy, F. K. 2010
098	左段 15行目	それは1879(明治12)	それは1877(明治10)
104	右段 7行目	土器を研究で	土器の研究で
111	左段 30行目(下から14行目)	1959(昭和34)年4月17日	1959(昭和34)年4月16日
111	右段 23行目	注石器文化が <sup>※</sup>	中石器文化
116	左段 7行目	土器の外面に着いて居る杯	土器の外面に着いて居る灰
116	右段	引用参考文献に以下の文献を追記。 江上波夫・後藤守一・山内清男・八幡一郎・甲野勇 1936「座談会 日本石器時代文化の源流と下限を語る」『ミネルヴァ』第1巻、第1号、翰林書房	
117	右段 33行目(下から25行目)	1959年4月17日朝刊	1959年4月16日朝刊
144	右段 1~2行目	れた - 使用目的を明らかにする。	れた使用目的を明らかにする。
146	右段 14行目	X線CT方	X線CT法
147	左段 4行目	0.4mi	0.4mm
152	図4のキャプション 3行目	撮影いる。	撮影。
156	図6のキャプション 3行目	撮影いる。	撮影。
158	左段 11~12行目(下から7~6行目)	レブリカ方	レブリカ法
160	左段 11~12行目	のに固化変わらず	のにもかわらず
164	左段5行目	絨毛	獣毛
176	左段	引用参考文献に以下の文献を追記。 河西学(2010)「静岡県東部地域出土曾利式土器の肉眼観察胎土組成—破魔射場遺跡・押出シ遺跡にみられる土器の移動—」『帝京大学山梨文化財研究所研究報告』, 14, pp.115-132	
210	図1のキャプション 2~3行目	群馬県埋蔵文化財調査センター	群馬県教育委員会
215	図7のキャプション 2~3行目	市原市埋蔵文化財調査センター	市原市教育委員会
223	写真4のキャプション	所蔵元を追記。	(新潟県教育委員会)
225	写真8のキャプション	所蔵元を追記。	(高崎市教育委員会)
254	図7のキャプション 2~3行目	(八戸市是川縄文館)	(函館市教育委員会)
281	写真のキャプション 3行目	ニコラ・フランマン	ニコラ・フロマン